

ジュニアコーラス通信

No.10【1月号】
H20.2月16日(土)
【発行者】
瀬底 莉鶴

新年が明けて、早や1ヶ月。

寒い季節にも関わらず、子どもたちはいつも元気に、ジュニアコーラスに足を運んでくれます。

1月は、年が明けてすぐ、5日に成人式がありました。佐敷地区での成人式は毎年、たくさんの市民が成人のみなさんを音楽で祝うのが定番であり、それが文化になっています。成人のみなさんが喜んでくれるように、子どもたちは11月から練習に取り組んできました。特に、「手のひらをかざして」は、新成人が中学生のときに歌った思い出の曲であり、その大切な曲を子どもたちもよく歌ってくれたと思います。

さて、最近のジュニアは、発表会に向けて着々と動いています。子どもたちもやる気満々で、私たちもそのやる気に応えられるよう頑張っています。今年の発表会の目玉は、1～3年生の「音づくり」と4年生以上による合唱「チョコタン～ぼくのおよめさん～」になります。今回は、1～3年生の様子を取り上げたいと思います。

1～3年生は、日頃お世話になっているこの「シュガーホール」をメインに、音で表現しようと取り組んでいます。そこで、シュガーホールを知ってもらうために、1日目にシュガーホール探検に行きました。スポットを浴びて、華やかな舞台は、出演しているし見たこともありますが、その裏で一生懸命サポートしているいわゆる“裏舞台”を知って、子どもたちは感動している様子でした。特に、舞台を明るく、華やかにしている“照明”には興味津々で、目をキラキラさせて、シュガーホールの吉里昌太さんの話を聞いていました。

みんながいつも舞台上で発表できるのは、裏で一生懸命サポートしてくれる人がいるからこそできるのですよ。それを頭に入れて、本番が終わった後には裏で頑張ってくれた人たちに感謝できる子になりましょうね。



↑吉里昌太さんの話を真剣に聞く子どもたち。



↑照明が付いている部屋から見る舞台はどう？



↑照明のスイッチを操作してみた感想はどう？

—編集後記—

「ジュニアコーラス通信」と併用して、日々の活動をブログで綴っています。ぜひ足をお運びください。

『ジュニア teacher 奮闘記!』(<http://jrchorus.ti-da.net/>) 瀬底

1月生まれのお友達☆
24日 屋比久愛聖さん(11歳)
誕生日おめでとう!